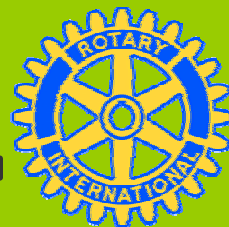


RI 第2820地区  
土浦ロータリークラブ  
創立 1958年2月14日  
承認 1958年3月7日

RI 第3520地区  
姉妹クラブ  
台北陽明扶輪社



# TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 山本 和男 幹事 白田 八束

【URL】 <http://www.tuchiura-rc.org>

【E-mail】 [office@tuchiura-rc.org](mailto:office@tuchiura-rc.org)

事務局：土浦市中央2-16-9（常陽銀行4F）【TEL】029-822-1250

【FAX】029-824-8830



RI 会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

2005年～2006年度 国際ロータリーのテーマ

## 超我の奉仕



関越トンネルを抜けて～視察団雪国に行く～

RI（国際ロータリー）の創立：1905（明治38）  
日本のロータリー創立：1920（大正9）

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2005～2006年度

## 11月第3例会プログラム

11月24日（第2361回）

点鐘  
ロータリーソング  
ビジター紹介  
幹事報告  
委員会報告  
会食  
卓話  
ここにこBOX  
出席報告  
点鐘  
ロータリーソング

会長  
奉仕の理想  
親睦活動委員会

「年末、年始に掛けての株価動向」 水谷 賢会員

S.A.A  
出席委員会

会長  
我等の生業（2）

格調高く、和やかに

例会場：ホテルロイヤルレイク土浦／例会日時：木曜日 12:30～13:30

VOL. 19

# 先週の例会報告

## 卓話 「家庭でできる省エネルギー」 渡辺 浩一 会員

私たちの未来や地球環境に貢献できる省エネルギーのポイントをお話したいと思います。

・「使用している家電製品は、使い方次第で電気のムダが省ける」ことからお話しします。ご家庭で1番電気を消費する家電製品の**第1位はエアコン**です。消費電力ウェイトの比較でみるとこれは家庭の光熱費の約3割を占めます。**第2位は冷蔵庫**で約2割を占めます。これらの省エネルギーのポイントをお話しましょう。

エアコンの省エネルギーのコツは3つあります。まず1つめは**設定温度は過ぎないようにすること**です。冷房時で1 高め、暖房時で1 低めに設定すると約10%の省エネルギーになり、これを実行すると**1年間で約1,700円おトクになります**。2つめは**エアフィルターの掃除**を2週間に1回行うことです。フィルターの片面に新聞紙などをあてて、反対側から掃除機で吸えば簡単です。これを実行すると**1年間で約900円おトクになります**。3つめは**使わないシーズンはプラグをコンセントから抜くこと**です。エアコンは使用してなくても、微量の電気が消費しています。これを実行すると**1年間で約300円おトクになります**。

次に、消費電量第2位の冷蔵庫ですがコツは3つあります。1つめは**熱いものは冷蔵庫の中に入れてください**。熱いものは冷ましてから、を実行すると**1年間で、約1,700円おトクになります**。2つめは**何度も扉の開け閉めをしないこと**です。これを実行すると**1年間で、約1,700円おトクになります**。3つめは**ギュギュ詰めにはしないこと**です。これを実行すると**1年間で、約5,900円おトクになります**。

・ポイントの2つめは「家電製品を選ぶところから省エネルギーがはじまる」ということです。家電製品は技術の進歩にとともに、使い勝手がよくなるとともに、エネルギー効率が高まってきました。これにはトップランナー方式というのが大きく関与しています。トップランナー方式というのは、改正省エネルギー法における省エネ性能基準設定の考え方で「家電機器等の省エネルギー基準を、各々の機器において、エネルギー消費効率が現在商品化されている製品のうち最もすぐれている機器の性能以上にする。」というものです。対象になっているものには、冷蔵庫、エアコン、蛍光灯器具、テレビなどがあります。

ところで、みなさんは「省エネルギーラベリング制度」をご存知ですか？この制度は、平成12年からスタートした制度で国が家電製品の省エネルギー基準を設けて、その達成率をラベルに表示したものです。省エネルギー達成率の優れた機器については緑色、通常はオレンジ色のラベルがついています。皆さんが店頭で購入するときには是非参考にしてください。

・省エネルギーの3つめのポイントは「新築・増改築時は、家をまるごと省エネルギー」できるということです。次世代省エネルギー基準が平成11年に制定されました。今、高気密・高断熱住宅の省エネルギー効果が注目されています。家全体の温度差がなく、熱が逃げにくい、昼間の冷暖房効果が夜まで長持ちするなどの特長があります。このような家に最適なエネルギーを選ぶとしたら、水蒸気やCO<sub>2</sub>の発生が少ないエネルギーを選ぶ必要があります。これらの条件に最適なのが**電気エネルギー**であり「**電化住宅**」なのです。

電化住宅に採用されるのは**IHクッキングヒーター、エコキュート**等の電気給湯器、冷暖房にはエアコンを採用し、家庭のエネルギーを全て電気でまかなうのが「**全電化住宅**」です。こういって「電気代が高い」とお思いになるでしょうが実は安いのです。なぜなら電化住宅用の電気料金メニューがあるからです。「電化上手」というメニューは、夜間・昼間・朝晩と時間帯ごとに料金単価が決められています。上手な使い方として、夜間は昼間料金の約1/6ですから、この時間帯にタイマーで使用できるもの、例えば洗濯機や炊飯器、食器洗い、生ごみ処理などをこの時間帯に行うようにすることです。更に、**電気エネルギー以外の熱源がまったく無い「全電化住宅」は「全電化住宅割引」も適用になり、さらにおトクになります**。

当社では、このような電化住宅の機器採用時や最適な電気料金をお選びいただく際のコンサル、光熱費シミュレーションなどを無料で承っております。是非お気軽にご利用いただきたいと思います。

## Topics



職場訪問と親睦企画報告(前編) 11月19・20日 職業奉仕委員長 木村 芳弘

今回の企画は、職業奉仕委員会と親睦活動委員会の合同企画で行われました。柏崎刈羽原子力発電所見学については、会員の渡辺浩一さんと葦沢克樹さんをはじめ、東京電力土浦支社の荒木富士夫さん橋本佳文さんのご尽力で実施することができましたことを先ずもって御礼申し上げます。

## なるほど、ガッテン!

11月19日。一行20名は快晴の土浦を出発し、関越道を一路新潟へ向かいました。行楽シーズンと交通事故が重なり、案じていた通り大渋滞に巻き込まれてしまいました。車中、東電の橋本さんより、日本のエネルギー事情についてレクチャーを受けました。要旨は以下の通りです。

- 日本はエネルギー消費量が世界第4位のエネルギー消費大国であり、しかも需要は年々増えています。
- その日本は、エネルギー資源の96%を輸入に頼っているのが現状です。
- 発電方式はおおまかに、火力60%、水力10%、原子力30%です。太陽光発電や風力発電などの自然方式は1%未満です。
- 一番大きい火力発電方式では、輸入先の中東の政情不安定や、化石燃料を大量に使うことによるCO<sub>2</sub>の増加問題が発生し、地球温暖化の対策が緊急事態になっている。
- 水力発電方式は、自然破壊の問題や建設コストの問題があり、又自然発電方式では天候に左右され安定供給が難しいなどの問題がある。よって、原子力発電方式に期待が集まっている。

橋本さんから、エネルギーのことや電気のことについて、基礎の基礎からレクチャーを受け、RCとしても地球環境の問題に取り組んでいることでもあり、原子力発電の必要性について認識を新たにしました次第です。

## 貴重な体験

前日の現地情報では、「運がよければ雪が見られるかもしれません」とのことでしたが、関東地方の晴天とは打って変わって、トンネルを抜けた湯沢は銀世界であり、参加者は期せずして一足お先に初雪を見ることができました。

葦沢さんお薦めのレストランの美味しい昼食もそこそこに、大幅遅れで発電所に到着いたしました。予定より大幅な遅刻にも拘らず、いつものニコニコ顔で葦沢さんのお出迎えを受けました。



葦沢さんは、地域共生担当の副所長という立場で、原子力発電の安全性と信頼性を理解していただくことが主な職務と伺っております。施設内には、約1,000名の東電社員と約4,000名の協力会社の社員がおり、その中の副所長という地位はいかに重要な役職か推察ができます。

原子力発電所は、9.11のテロ事件以来常時厳戒警備体制をとっているとのことであり、2つの自治体にまたがる広大な構内には、新潟県警機動隊の装甲車が常駐しておりました。海上では海上保安庁の警備艇が海からの警戒に当たっているということでした。

そのような警備体制の中、私たちは、何重もの厳重なセキュリティーチェックを受け放射線管理区域に入り、副所長の特別なお計らいで最新鋭の原子炉の真上までご案内いただきました。因みにその時の放射線測定値の表示は、0.00066ミリシーベルトでした。その後、巨大なタービン発電機や、映画で見たNASAのコントロールセンターのような中央制御室も見学することができました。

見学した7号機という原子炉は発電量が135万Kwで、茨城県の電気の需要の約1/3をこの1基で賄うことができると聞き、原子力のパワーの凄さに驚きました。

そして、参加者の誰もが関心を持っていた放射性物質の外部への漏洩に対する質問に対しては、原子炉の構造は、何重ものガードがしてあり、地震に対しても万全の対応をしてあるので耐久性については問題がないとのことであり、危機管理に対する訓練や、技術向上のための厳しいトレーニングも日常的に行っているとのことでした。

## 当たり前のことの大切さ

私たちは、水と電気はいつでも安定して入手できるものと思いがちであり、そのことを前提にして企業活動を行っております。大事なことは、その当たり前のことがちゃんとできるように(電気を安定して供給できるように)、私たちの知らないところで24時間昼夜を問わず懸命な努力がなされているということを知り、職業人として「当たり前の大切さ」について新たな感慨を持ちました。「当たり前のことを、当たり前に行ってゆくのが職業人の務め」と職業奉仕の研究会で伺いました。今更ながらその言葉の重さに気がついた貴重な体験を、今回の職場訪問でさせていただきます。



見学を終えて、関係者の皆さまにご挨拶をして発電所を後にする頃には、すでに夕闇が迫る時間になってしまい、雪の舞い散る中を赤倉温泉に向かいました。そしてそこには、思いもよらぬハプニングが待ち受けておりました・・・。





原子炉の真上にて



原子炉の真上にて

寄付金報告 ロータリー財団

受付日	氏名	金額		累計(ドル)
		ドル	円	
11/17	石川 清人	150	16,800	3,700
11/17	廣瀬 昭雄	200	22,400	5,200
11/17	太田 達	150	16,800	1,250
11/17	森内 英雄	150	16,800	1,700
11/17	河合 隆	150	16,800	4,030
11/17	高木 彬	300	33,600	6,050
11/17	萩原 英彦	50	5,600	3,000
11/17	小松崎幹雄	150	16,800	1,900
11/17	島田 貞雄	150	16,800	150
11/17	菊池 信子	150	16,800	2,000
11/17	坂本 史郎	50	5,600	2,300
11/17	杉山 邦夫	150	16,800	1,150
11/17	高木 博昭	150	16,800	2,870
11/17	竹中 広夫	150	16,800	1,830
11/17	木村 芳弘	150	16,800	3,000
	計	2,250	252,000	

累計 7月~11/17 7,350ドル 823,200円



職業奉仕委員長：木村君



施設案内をして頂きました。



親睦活動委員長：磯君

寄付金報告 米山奨学金

受付日	氏名	金額	累計(円)
11/17	沼田 義雄	30,000	320,000

累計 7月~11/17 1,560,000円

にこにこBOX

11/17 10,000円 累計 910,000円

廣瀬君~10/23~27日、シカゴで開催された、退会防止試験的プログラム会合に出席し、無事帰国致しました。  
渡辺(浩)君~卓話の機会を頂き有難うございました。

メイクアップ

川田(11/14 牛久) 中桐(11/15 土浦南) 岩瀬・小網・宇田川・辻・松浦(泰)・臼田・円城寺・磯・中桐・海老原・井坂(11/17 分区ゴルフ) 水谷(11/17 RAC)

出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率	メイク	前週訂正
70名	12名	58名	12名	79.31%	3名	84.48%

例会予告

- 12/1 年次総会  
卓話「日本と中国、文化の違い」 米山奨学生 朴 光日君
- 12/8 卓話「退会防止試験的プログラム・アメリカ帰国報告」 廣瀬 昭雄会員

本日のメニュー  
 椀 あら汁  
 - 六角弁当にて -  
 わかさぎのフライ  
 小松菜と鳥の煮物  
 蓮根ご飯